

# 日刊建設工業新聞

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2012 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

(10)  
2012年(平成24年)6月13日(水曜日)

# 新聞禁止敬賀日本



## 竹林 征三

富士常葉大学名誉教授  
山崎大学時間学研究所客員教授

つい先日まで日本の文明の行く末の舵を取っていたのが菅前首相だ。菅前首相の心の底が見えない。我々は、菅前首相の言葉の端々から憶測してその真意を知ろうとする。憶測すれば、日本丸の菅船長は日本丸を本気で沈没させようと思えているようにしか思えないから、余計に不安になっている。

1日後には水素爆発が起き、メルトダウンも始まっていた。24時間の初期対応がすべてを決するものであった。

そのよつなことより、「人のうわさ」が立つ。「うわさ」が「うわさ」を呼ぶ。そのような不安の種になる「うわさ」を風評という。風評は次々と思いがけない

健康影響は、年間100ミリシーベルト以下では認められない。また、放射線のリスク評価は年間50ミリシーベルト以上の被曝に限定すべきであるという。

大阪大学の近藤宗平教授は、「低線量の放射線は有害ではない。いや実際には人間の健康に明らかに有益であることが多い」と述べている。

その放射線を活用したレントゲン撮影により、結核が早期発見できるようになった。また、ガンの治療法として放射線治療が生命文明として人類の繁栄に大きな役割・貢献を果たしてきた。これらは、眼に見えない放射線の危険性を完全に封じ込める知恵とノウハウを獲得した結果である。放射線を恐ろしく危険なものとして避けてきたならば実現

## 目に見えないものの克服

原発事故の当初の数日間、枝野官房長官(当時)が毎回「ただちに深刻な被害が表れる」ということではないので冷静な行動を」と連発していた。事故発生の際の冷たい不安が異なる。安の種と度合いが異なる。

形のない災いを生む。多くの人が関心のあるテーマと、菅氏や枝野氏ら注目される人がいる場所(官邸等)で、災いの種・風評は生まれる。そしてインターネットの情報社会であるから、ネット情報にのって一瞬にして日本中から世界中に風評が広がる。

かたちにするにより、その存在を確信できる。平賀源内は、エレキテルの存在を実験して電気を見せた。エジソンが電気力により光をつくらせて見せた。眼に見えない電気の存在が恐ろしいものであるとして、それから逃避してきたならば、現在の電気文明は享受できなかった。

無限再生循環エネルギーの源泉は、太陽エネルギーである。太陽エネルギーの根源は何か、それは原子核分裂と核融合の時に発する熱源である。

その太陽熱エネルギーを人類が身近で利用できやすいように変換する技術が、原子力発電である。原子力発電は、無限再生循環エネルギーを人類の知恵で獲得

したものである。原子力発電は夢のエネルギーである。人類の知恵は、原子力発電をもつ危険性を極限まで小さくすることに成功した。しかし、想定外の巨大地震の発生により、もう一步のところで事故を起こしてしまった。

東芝・日立・三菱等の原子力技術は世界をリードしている。英国・米国・カナダ等の日本に続く原子力技術の国々と緊密な友好関係を持っている。

今回の事故の教訓を活かして、真に世界で最も安全な原発をつくらせて見せることができれば、日本は人類文明のために世界一安全な原発をつくらせて見せると宣言すべきである。

東芝・日立・三菱等の原子力技術は世界をリードしている。英国・米国・カナダ等の日本に続く原子力技術の国々と緊密な友好関係を持っている。

今回の事故の教訓を活かして、真に世界で最も安全な原発をつくらせて見せることができれば、日本は人類文明のために世界一安全な原発をつくらせて見せると宣言すべきである。

今回の事故の教訓を活かして、真に世界で最も安全な原発をつくらせて見せることができれば、日本は人類文明のために世界一安全な原発をつくらせて見せると宣言すべきである。

今回の事故の教訓を活かして、真に世界で最も安全な原発をつくらせて見せることができれば、日本は人類文明のために世界一安全な原発をつくらせて見せると宣言すべきである。

### 所論諸論

健康影響は、年間100ミリシーベルト以下では認められない。また、放射線のリスク評価は年間50ミリシーベルト以上の被曝に限定すべきであるという。

大阪大学の近藤宗平教授は、「低線量の放射線は有害ではない。いや実際には人間の健康に明らかに有益であることが多い」と述べている。

その放射線を活用したレントゲン撮影により、結核が早期発見できるようになった。また、ガンの治療法として放射線治療が生命文明として人類の繁栄に大きな役割・貢献を果たしてきた。これらは、眼に見えない放射線の危険性を完全に封じ込める知恵とノウハウを獲得した結果である。放射線を恐ろしく危険なものとして避けてきたならば実現

したものである。原子力発電は夢のエネルギーである。人類の知恵は、原子力発電をもつ危険性を極限まで小さくすることに成功した。しかし、想定外の巨大地震の発生により、もう一步のところで事故を起こしてしまった。